

# すべての学友は団交に 結集しよう！

## 学と団交の一切が今日の団交 にある！

### 全和泉の学友諸君！！

今や我明大は、學費斗争を契機として  
黒い雲と霧とに包みこまれてしまっている。我々  
は、この大団交に太陽の光を射し込む作業  
を、二二ライオンの重なる、我明者の団交に  
ひたすら従事する作業を命じらる。これは困  
難な、いはゆる道であることは事実であらう  
。我々の大団交が、なげなく私立大の他校  
は、旧別明大に露を注いだりしてはな  
い。我々、早大の学上、學費斗争、旧別明に  
表明したものである、けれど、我々は眞理  
に表明したものである。これは皆備化して  
おこなうこと、科挙制に力をつけることだが、  
我々の任務として存任するのだ。そこの科  
學的方針を現実の運動に理論化し、止揚する  
ことによって、現在の程に格別な要素を  
取りこむことになりうる。そこで始めて新  
正の眞理をきつてあつた、新正の學回  
冠を注ぎ出すであらう。我々斗争それ自体  
きつめて我々、要因を内包している。これ  
は、我々には困難かつ遠大な課題が提出  
されてきている。

學生会中執がのりつて明らかにしたよう  
に、我々には學生会を離れ、又、分断し  
やうし、中執委員を怒海に呼び出し、眞理  
の作業を計らうとした。このことは、我々大  
が従来もつてい、エマクザの傾向をきつて  
のである。大団交のコミニケーションの復活  
を期待して、我々理事者、理事者が、コミニ  
ケーションを断つて取り引きをするること  
によって、我々斗争を終焉させようとする、破  
産的きりきりない態度を取らうとした。この  
しは、我々を上げをして、よりよい教  
育をよりよい研究と財政問題を説明する理  
事者に一層の疑惑を我々學生は抱かざるを  
得ないのである。我々は二二の命に責任の

巨大化した私大の本質を明らかにするのである  
。一部の理事者、教授の私利私欲に奔せ  
る事実をこれに明らかにするのだ。我々、明大  
と別山を企業体である利権大団交に明治  
大の団交を語り、自らの利権利権追求の  
大団交の私物化を計らうとするメカが、明  
大に存在するところを明らかにして  
おはすは、我々には許すことではない。眞理探  
究の場である学回がワンクにして一切の論議  
と罵詈雑言を掃くことを徹底してなす可  
要がある。我々、我々理事者に厳正に向い  
て。自らの非を認め、速やかに学上へ上  
る撤回することを、自らの姿勢を正すこと  
を、自ら探り進んでいける学生に熟練する  
ことを直ちに止めることを、もしも  
石りば、我々を学生の手にもたせよであ  
る。

そのすることなしに強行に学上へ上げを  
強硬するならば、今後、起る一切の事態の責  
任は理事者にあることを確信する。  
教育資本そのものが、産業資本と何ら  
異なることなく、資本が自立し、自己殖産  
を計ることなく、もたせよとされる。しは、  
て、故に我々を進行し、借入金が増える一  
方、固定資本は、増大の一途をたどる過程  
がけられるのである。

ここには教育とは何ら無縁の存在として  
ありゆるものが出現するのである。  
ここには我々は独自の教育論を唱へる必  
要にせまらるるのである。これに際しては、  
、後ほど資料で明らかにしていこうと思ひま  
。とちの私大の団交にさしての学友が結  
集、今日の団交の、理事者の、態度を把ら  
せておきたい。

學生会中央執行委員会